



照屋 仁士 議員

南風原町は将来「どんなまち」を目指すのか

答 さまざまな角度から検証を行っていく

問 大型MICE施設がマリントウンに決定した。ライカムはじめ県内各地で開発が加速される。南風原町は取り残されるのではないか。

副町長 当該施設の波及効果を本町へ反映させられるようさまざまな角度から検証を行っていく。

問 鉄道交通網も注目される。新交通体制に付随する施設、駅、関連する産業が当然考えられる。本町も積極的にその案を提示していく必要があるのではないか。

総務部長 回数もピッチも上げて勉強していきたい。議員の協力、助言も期待する。

問 地権者と企業とのマッチングセミナーに期待する。土地利用はじめ、ときには地権者をまとめて提案していく、そういった企業側にとって進出しやすい状況づくりも行政の役割ではないか。

産業振興課長 津嘉山地区からマッチングは進めていく。進めていくうえで事業所より情報を集め、企業側が進出しやすいよう検討したい。

増え続ける医療費の抑制はできるのか

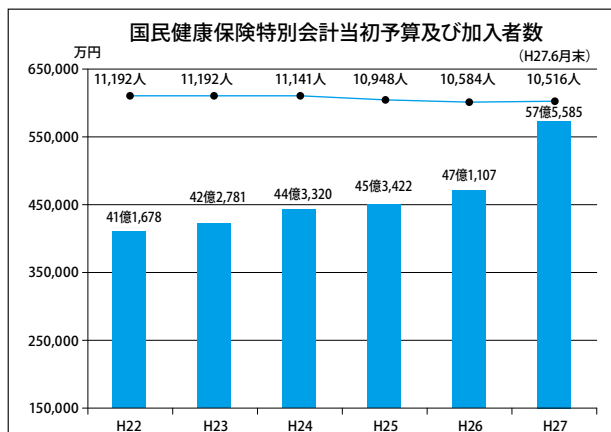
問 本町の予算総額210億の内、国民健康保険特別会計は57億円余にもなる。今年度国保特会は約10億円以上も増えた。制度上変わった部分と医療費増に伴う部分を町民に分かりやすく説明せよ。

民生部長 7億円余が制度上の増額。3億円が医療費増によるものである。

問 例年1〜2億円増の推移が、今年はずでに3億円近く医療費増になっている。本町の人口は伸びているが国保加入者は減っている。医療費が増え続ける要因をどう考えるか。

民生部長 沖縄県の特徴で、

入院外の金額は全国最下位だが、入院費が高い。重症化してから医療にかかる傾向が見られる。入院の長期化、高額化が、結果的に医療費全体の総額を高めている。



こんな質問もしました

- 南風原・与那原バイパス 工事進捗の見える化を
- フアーマーズと連携を
- 第四次総合計画の評価分析を